

観点 番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
	2 東書	中学校技術	技術 002-72	新編技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology
取扱内容 学習指導 要領の総 則及び各 教科の目 標，内容 等	<p>○ 技術分野の目標が達成できるよう，次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「A材料と加工の技術」において，身の回りの製品や建築物について開発者が込めた問題解決の工夫を考慮を通して，材料と加工の技術と生活や社会，環境との関わりについて理解したり，生活や学校，社会の中から問題を見だし解決する学習活動を通して，材料と加工の技術を工夫し創造したりする活動 ・「B生物育成の技術」において，夏野菜を冬に栽培することができる技術について考慮を通して，生物育成の技術と生活や社会，環境との関わりについて理解したり，持続可能な社会の実現に向け，生物育成の技術でできることについて話し合うことを通して，生物育成の技術を工夫し創造したりする活動 ・「Cエネルギー変換の技術」において，身の回りの機器が動く仕組みについて調べることを通して，エネルギー変換の技術と生活や社会，環境との関わりについて理解したり，自身が経験した問題解決と社会や産業における問題解決の共通点や違いについて考慮を通して，エネルギー変換の技術を工夫し創造したりする活動 ・「D情報の技術」において，生活や社会の中で使われている情報の技術を見付け，まとめることを通して，情報の技術と生活や社会，環境との関わりについて理解したり，よりよい生活の実現に向けて，情報の技術でできることについて考慮を通して，情報の技術を工夫し創造したりする活動 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については，「生物育成の技術による問題解決」において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，グループで育成計画を交流し，必要に応じて修正したり，栽培の育成計画や観察記録を振り返り，栽培レポートを作成したりするなど，考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。</p>			
内容の 構成・ 排列， 分量等	<p>○ 内容の構成・排列については，「技術分野の学習を始めよう」において，3学年間の学習の見通しをもたせるとともに，「生活や社会を支える材料と加工の技術」において，技術に関する原理・法則と，基礎的な技術の仕組みについて理解する学習を行った後に，技術によって問題を解決する学習を位置付けるなど，系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については，「ガイダンス」は14ページ，「A材料と加工に関する技術」は62ページ，「B生物育成に関する技術」は48ページ，「Cエネルギー変換に関する技術」は62ページ，「D情報に関する技術」は68ページで，総ページ数は298ページであり，前回より約3%減となっている。</p>			
使用上の 配慮等	<p>○ 問題の発見や課題設定のイメージをもたせるための3コマ漫画を示したり，技術の見方・考え方に気付かせるための「技術のめがね」を掲載したりするなど，生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 各節の冒頭に考えを交流し合う「始めの活動」や，学習内容を振り返り，次の学習につなげる「まとめの活動」を掲載するなど，主体的に学</p>			

	<p>習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 巻頭に安全への意識を高めるページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザイン書体を使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「Dマーク」（二次元コード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
指導上の 配慮等	<p>○ 地域素材については、再生可能エネルギーの紹介として、十勝地方にある液化バイオメタンガスの製造施設を扱っている。</p> <p>○ ICTの活用については、1人1台端末を活用した学習活動として、各ページの右上に二次元コードがあり、ワークシートやより詳細な解説や動画などを確認したり、自身の学習の進捗や興味・関心に合わせて個に応じたコンテンツで学習を進めたりする工夫がなされている。</p> <p>○ 小中連携による指導については、ガイダンスや「小学校リンク」マークが示されており、小学校で学んだ教科内容との関連を図るよう配慮がなされている。</p>
本市生徒の 学習の状況等	<p>○ 自らの力で生活の中から課題を見だし、見方・考え方を働かせ、よりよい生活を目指して工夫し創造する力を育むことができるよう、各章の2編で「問題の発見と課題の設定」「解決策の構想」「評価、改善・修正」について具体的に紹介する工夫がなされている。</p> <p>○ 授業の中で身に付けた技能を生かして、実生活の中の問題を解決する力を育むことができるよう、「TECHLab」で工具や農具の使い方などの基礎技能を確認したり、巻末の資料では、コンピュータの基礎操作や様々なプログラミング言語での制作について振り返ったりすることができるよう工夫がなされている。</p> <p>○ 学んだ知識を実生活の事象などと関連付けて定着させることができるよう、各内容の最後の章において、現在使われている技術の最適化の例や社会生活における問題を紹介する工夫がなされている。</p>
その他	<p>○ 課題を解決するための方策について評価・改善することができるよう、解決までのプロセスと活動段階に応じた評価や深化の資料が用意され、学習に生かせるよう配慮がなされている。</p>

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		6 教図		中学校技術	技術 006-73
取扱内容	学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	<p>○ 技術分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「A材料と加工の技術」において、身の回りの製品の開発の工夫と問題解決の進め方について調べることを通して、材料と加工の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、身の回りで不便に感じていることなどの問題の解決に向けた学習活動を通して、材料と加工の技術を工夫し創造したりする活動 ・「B生物育成の技術」において、生物の特性や習性に合わせて環境を調節する技術について考えることを通して、生物育成の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、技術のプラス面とマイナス面を踏まえ、社会における技術の在り方についてまとめることを通して、生物育成の技術を工夫し創造したりする活動 ・「Cエネルギー変換の技術」において、身の回りの製品の技術の工夫について調べることを通して、エネルギー変換の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、よりよいエネルギーの利用やエネルギー変換の技術の活用法などについて考えることを通して、エネルギー変換の技術を工夫し創造したりする活動 ・「D情報の技術」において、身近な生活や社会で利用されている情報の技術について考え、見付けることを通して、情報の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、情報の技術の役割や影響を踏まえ、新しく開発したい技術について考えることを通して、情報の技術を工夫し創造したりする活動 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「生物育成の技術『技術をいかそう』」において、学習課題を設定し、見直しをもたせるとともに、自分の考えた計画を先輩や友人の計画と比較し見直したり、環境調節の仕方や成長に応じた管理の仕方などの修正案をまとめたりするなど、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。</p>			
内容の構成・排列、分量等	<p>○ 内容の構成・排列については、「学習内容への道案内」において、3学年間の学習の見直しをもたせるとともに、「材料と加工の技術『技術を見つめよう』」において、技術に関する原理・法則と、基礎的な技術の仕組みについて理解する学習を行った後に、技術によって問題を解決する学習を位置付けるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、「ガイダンス」は16ページ、「A材料と加工に関する技術」は68ページ、「B生物育成に関する技術」は53ページ、「Cエネルギー変換に関する技術」は54ページ、「D情報に関する技術」は84ページで、総ページ数は304ページであり、前回より約12%減となっている。</p>				
使用上の配慮等	<p>○ 問題解決の流れを学ぶための4コマ漫画を示したり、設計・計画や実習に活用できるよう技術資料を別冊にまとめたりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 学習の流れを明確にするための「見つける」「学ぶ」「ふり返る」の3つのステップや、学習内容を自ら確認し、振り返りにつなげる「めあて」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p>				

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習全体に対する安全や各編に特化した安全のページを設けたり，全ての生徒が学習しやすいよう，ユニバーサルデザイン書体を使用したりするとともに，1人1台端末を活用した学習活動として，二次元コードを掲載するなど，使用上の便宜が図られている。
指導上の 配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域素材については，伝統野菜としての札幌大球キャベツ，品種改良により寒さに強いななつぼしを扱っている。 ○ ICTの活用については，1人1台端末を活用した学習活動として，二次元コードから補足資料や原理現象の解説動画，基礎技能の習得に向けた動画，設計やレポートの書式を見ることができるよう工夫がなされている。 ○ 小中連携による指導については，ガイダンスや小学校及び中学校の学習に関連する「関連リンク」マークが示されており，小学校で学んだ教科との関連を図るよう配慮がなされている。
本市生徒の 学習の状況等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自らの力で生活の中から課題を見だし，見方・考え方を働かせ，よりよい生活を目指して工夫し創造する力を育むことができるよう，各内容の2章が「問題発見」「設計・計画」「制作・製作・栽培」「振り返り」で構成されており，練習題材として「プチ問題解決」を紹介する工夫がなされている。 ○ 授業の中で身に付けた技能を生かして，実生活の中の問題を解決する力を育むことができるよう，巻末のシートを活用した設計や計画ができたり，別冊の「スキルアシスト」でより詳細な工具や農具の使い方を振り返ったりすることができる工夫がなされている。 ○ 学んだ知識を実生活の事象などに関連付けて定着させることができるよう，各内容の最後の章において，これまでに学んだ技術の長所や短所，活用方法など紹介する工夫がなされている。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 課題を解決するための方策について評価・改善することができるよう，「プチ問題解決」などスモールステップで学習を進められるよう配慮がなされている。

観点 番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
	9 開隆堂	中学校技術	技術 009-72	技術・家庭 技術分野 テクノロジーに 希望をのせて
取扱内容 学習指導 要領の総 則及び各 教科の目 標，内容 等	<p>○ 技術分野の目標が達成できるよう，次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「A材料と加工の技術」において，身の回りの製品に使われている材料と使用場面について調べることを通して，材料と加工の技術と生活や社会，環境との関わりについて理解したり，日常生活を見直して問題を見だし解決する学習活動を通して，材料と加工の技術を工夫し創造したりする活動 ・「B生物育成の技術」において，季節を問わず安定して作物を生産する栽培方法の特徴について考えることを通して，生物育成の技術と生活や社会，環境との関わりについて理解したり，これからの生物育成の技術や，その活用について話し合うことを通して，生物育成の技術を工夫し創造したりする活動 ・「Cエネルギー変換の技術」において，身の回りの製品に込められた技術の仕組みについて調べることを通して，エネルギー変換の技術と生活や社会，環境との関わりについて理解したり，新しいエネルギー変換の技術について調べ，考えたことを情報交換することを通して，エネルギー変換の技術を工夫し創造したりする活動 ・「D情報の技術」において，情報の技術と身の回りにある製品やサービスとの関わりについて考えることを通して，情報の技術と生活や社会，環境との関わりについて理解したり，自身が経験した問題解決の過程と社会における問題解決をつなげて考えることを通して，情報の技術を工夫し創造したりする活動 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については，「生物育成の技術による問題解決」において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，設定した課題に応じて育成計画を立てたり，問題解決の過程を振り返り，育成した作物の評価を基に改善策を考えたりするなど，考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。</p>			
内容の 構成・ 排列， 分量等	<p>○ 内容の構成・排列については，「技術の学習を始める前に」において，3学年間の学習の見通しをもたせるとともに，「材料を利用するための技術」において，技術に関する原理・法則と，基礎的な技術の仕組みについて理解する学習を行った後に，技術によって問題を解決する学習を位置付けるなど，系統的・発展的に学べるような工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については，「ガイダンス」は20ページ，「A材料と加工に関する技術」は80ページ，「B生物育成に関する技術」は52ページ，「Cエネルギー変換に関する技術」は54ページ，「D情報に関する技術」は74ページで，総ページ数は314ページであり，前回より約4%増となっている。</p>			
使用上の 配慮等	<p>○ 問題解決の流れのイメージをもたせるための4コマ漫画を示したり，実践的・体験的な学習活動や実習例を掲載したりするなど，生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 各小項目の冒頭に学習の見通しをもつ「学習の目標」や，学習内容について自分で振り返るための「CHECK」を掲載するなど，主体的に学習に</p>			

	<p>取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 学習における安全について授業場面を例に説明するページを設けたり，全ての生徒が学習しやすいよう，ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに，1人1台端末を活用した学習活動として，二次元コードを掲載するなど，使用上の便宜が図られている。</p>
指導上の 配慮等	<p>○ 地域素材については，構造や材料の工夫として，室蘭市の白鳥大橋を扱っている。</p> <p>○ ICTの活用については，1人1台端末を活用した学習活動として，二次元コードから活動コンテンツ，動画コンテンツ，資料コンテンツを利用することができ，学習活動や自学自習，反転学習に活用する工夫がなされている。</p> <p>○ 小中連携による指導については，ガイダンスや各内容の学習の最初において，に小学校で学んだ教科内容との関連を図ることができるよう配慮がなされている。</p>
本市生徒の 学習の状況等	<p>○ 自らの力で生活の中から課題を見だし，見方・考え方を働かせ，よりよい生活を目指して工夫し創造する力を育むことができるよう，各内容の2において，問題解決の流れを紹介し，実習例を複数掲載する工夫がなされている。</p> <p>○ 授業の中で身に付けた技能を生かして，実生活の中の問題を解決する力を育むことができるよう，巻末のコンピュータの基礎操作の内容や各領域の1章で設計・製作に必要な，図面の書き方や工具や用具の使い方などについて学習を振り返ることができるよう工夫がなされている。</p> <p>○ 学んだ知識を実生活の事象などに関連付けて定着させることができるよう，「やってみよう」というコーナーを設け，実生活との結び付きを意識し，考えたり話し合ったりするよう工夫がなされている。</p>
その他	<p>○ 課題解決するための方策について評価・改善することができるよう，デジタルコンテンツによるチェックシートが用意され，学習に生かせるよう配慮がなされている。</p>